

2026年3月30日

各位

株式会社富山第一銀行

山田工業株式会社との
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、山田工業株式会社（代表取締役社長 山田 恵子）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを緩和する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

2. 融資概要

契約締結日	2026年3月30日
借入人	山田工業株式会社
融資金額	80百万円
資金用途	設備資金
モニタリング期間	10年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 山田工業株式会社

代表者	代表取締役社長 山田 恵子
本社所在地	富山県富山市婦中町萩島 3253-1
事業内容	化学機械装置 設計・製作・据付、一般産業機械装置 設計・製作・据付 各種圧力容器 設計・製造・据付、各種配管工事
設立年月	1938年8月

4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	製品の提供を通じた環境負荷低減への取り組み強化
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大 環境面におけるポジティブインパクトの拡大 経済面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「水（入手）」 「気候」 「包括的で健全な経済」
関連 SDGs	  
対応方針	・脱炭素社会に向けた代替エネルギープラントの開発・設置や、水処理設備・リサイクル設備等の環境プラントの製造や省エネ化、長寿命化工事を積極的に手掛け、安全で環境性能の高い水処理施設や化学プラントの稼働に貢献する
毎年モニタリングする目標と KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2031 年 1 月期までに水処理設備・リサイクル設備等の環境プラント機器製造件数を累計 410 件（平均 82 件/年）以上にする （2026 年 1 月期：58 件） ・2031 年 1 月期までに水処理設備・リサイクル設備等の環境プラントの省エネ化、長寿命化に関する工事件数を年間 50 件以上にする （2024 年 1 月期～2026 年 1 月期 3 期平均：30 件） <p>※2032 年 1 月期以降の目標は改めて設定する</p>



株式会社富山第一銀行

婦中支店長 石黒 和彦

山田工業株式会社

代表取締役社長 山田 恵子 氏

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：小笹

TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：山田工業株式会社



2026年3月30日

株式会社 富山第一銀行

目次

1. はじめに.....	2
2. 会社概要.....	3
(1) 企業概要.....	3
(2) ビジョン.....	3
(3) 沿革.....	3
(4) 組織図.....	4
3. 事業概要.....	5
(1) サプライチェーン.....	5
(2) 部門別内容.....	5
(3) 工場・設備内容.....	7
(4) 品質方針.....	9
(5) サステナビリティへの取り組み.....	10
4. 職場環境など.....	12
(1) 多様な働き方への取り組み.....	12
(2) 人材育成への取り組み.....	12
(3) 職場環境改善への取り組み.....	14
(4) 福利厚生の実施に向けた取り組み.....	15
5. インパクトの特定.....	17
(1) インパクトリーダーによる包括的なインパクト分析.....	17
(2) インパクトカテゴリーに対応する SDG s ゴール.....	18
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認.....	19
(4) 富山県におけるインパクトニーズの確認.....	19
(5) インパクトの特定.....	21
(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認.....	21
6. KPI の設定.....	22
①製品の提供を通じた環境負荷低減への取り組み強化.....	22
②企業活動における環境負荷低減への取り組み実施.....	23
③働きがい・働きやすさ・生産性の向上を追求した職場環境の整備.....	24
7. 管理体制とモニタリング.....	25
(1) インパクトの管理体制.....	25
(2) モニタリング方法.....	25
注意事項・免責事項.....	26

1.はじめに

株式会社富山第一銀行は、山田工業株式会社に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、当社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及びESG金融ハイレベル・パネル設置要領第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、山田工業株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

株式会社富山第一銀行（以下、「富山第一銀行」）は、本評価書で特定されたポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取り組みを支援するため、山田工業株式会社（以下、「当社」）に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	山田工業株式会社
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	2026年3月30日から10年間
金額	80百万円
資金使途	設備資金

2. 会社概要

(1) 企業概要

社名	山田工業株式会社
代表者	代表取締役 山田 恵子
本社	富山県富山市婦中町萩島 3253-1
創業年月	1938年8月
事業内容	化学機械装置 設計・製作・据付 一般産業機械装置 設計・製作・据付 各種圧力容器 設計・製造・据付 各種配管工事
売上高	1,562 百万円 (2025年1月期)
資本金	48 百万円
従業員	62 名 (2025年12月29日時点)
事業所一覧	【本社・工場】 富山県富山市婦中町萩島 3253-1 【婦中工場】 富山県富山市婦中町笹倉 635

(2) ビジョン

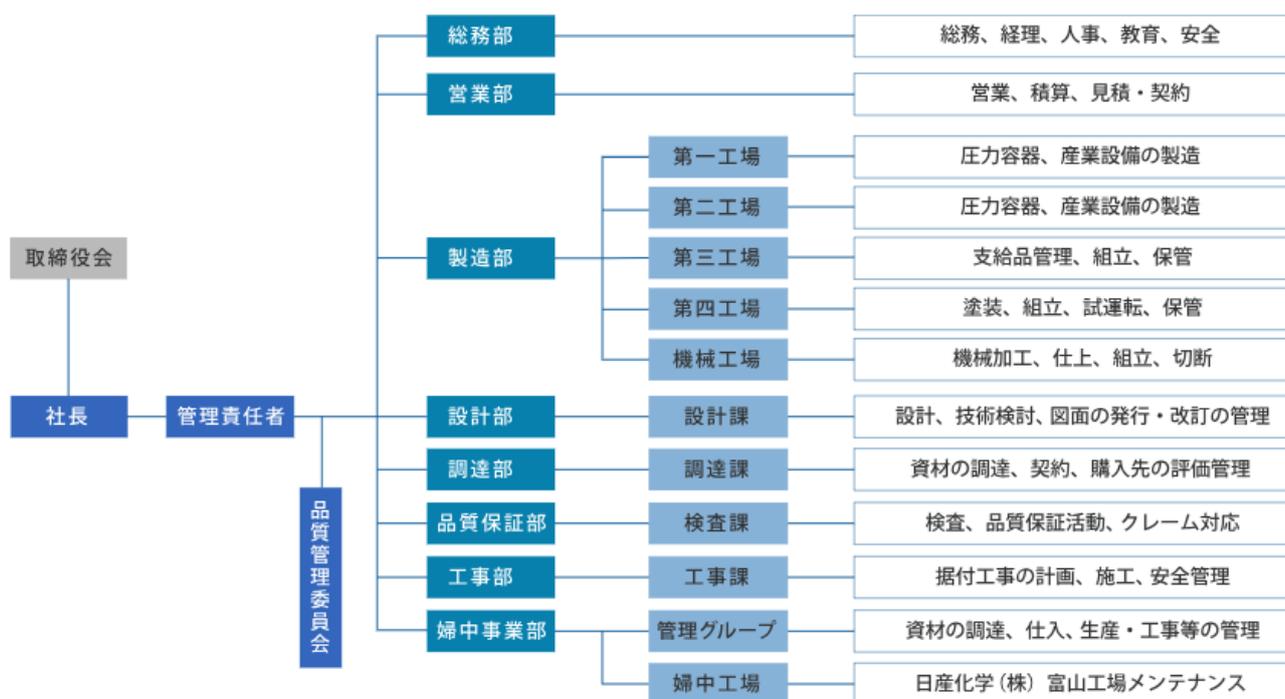
全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、卓越した技術で現代(いま)と未来の社会に貢献する

(3) 沿革

1938年	山田久松が個人経営を以て婦中町で山田鉄工所創業
1951年	建築業登録 富山県知事 認可取得 (以後更新継続)
1961年	有限会社に組織変更し、名称を有限会社山田鉄工所とする 資本金 800 万円
1964年	クレーン製造認可取得
1965年	資本金を 1,200 万円に増資
1965年	本社工場を婦中町から富山市牛島に移転
1967年	組織及び名称を変更、山田工業株式会社とする
1967年	資本金を 1,600 万円に増資
1969年	第1種圧力容器製造認可取得
1969年	資本金を 2,800 万円に増資
1973年	本社を婦中町萩島 婦中鉄工業団地内に移転

1976年	資本金を3,800万円に増資
1977年	高圧ガス取締法 高圧ガス特定則圧力容器の製造開始
1977年	ボイラー製造許可取得
1981年	鋼構造物製作工場認定 Mグレード認可取得 (～2022年)
1983年	資本金を4,800万円に増資 現在に至る
1998年	ISO9001 認証取得 (高圧力ガス用容器、熱交換器、塔槽類)
2006年	電気事業法による圧力容器の製造認可取得
2010年	ISO9001 認証適用範囲拡大 (圧力容器及び水処理設備などの産業機械設備の設計及び製造)

(4) 組織図

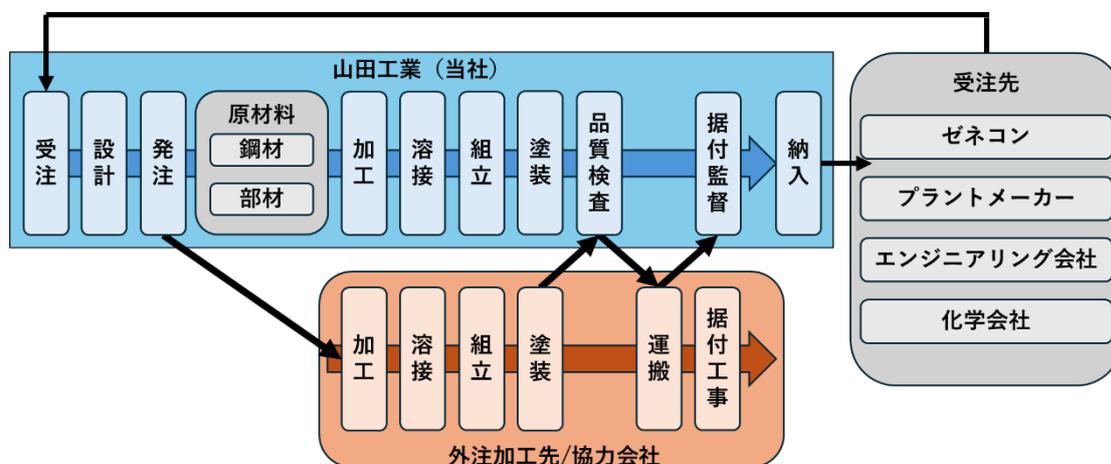


3. 事業概要

当社は1938年の創業以来、80年余りにわたって圧力容器をはじめとする化学プラント機器、排水処理設備をはじめとする環境プラント機器、一般産業機械、鋼構造物等、数多くの機器の製作・工事を手掛けている。

(1) サプライチェーン

- ・ 当社は設計から製造・据付工事までの工程を一貫して対応でき、各工程間のムダを最小限におさえ、お客様のトータルコスト削減の要望にも高い技術力で対応できる体制を構築している。
- ・ また一部の特殊加工や特殊塗装に対しては外注利用にて対応しているが、品質検査はすべて自社で対応することでお客様からの信頼に応えるよう取り組んでいる。
- ・ 据付工事現場までの運搬は運送会社に依頼している。



(2) 部門別内容

◆製造部 ～環境プラント機器部門～

- ・ これまで40年以上にわたって全国の上下水処理場及び民間施設に数多くの製品を納入している。
- ・ 水処理施設に必要な自動防塵機や除塵を運搬するスキップホイスト、脱水した污泥の貯留に使用されるカットゲートホップなど、多くの製品を納入し、安定した水処理施設の稼働と水処理設備における省エネルギー化・長寿命化を支えることで、生活や産業に不可欠な水資源の循環に貢献している。



フロントレーキ型自動防塵機



スキップホイスト



カットゲートホップ

- ・ 水処理設備における省エネルギー化は、老朽化設備を取り換えることで主に電力消費量の削減とCO₂排出量の削減に繋がる。新型のポンプや攪拌機などの高効率機器を導入することで、処理能力を維持しつつ消費電力を削減でき、環境負荷低減に繋がる。

- ・ また水処理設備における長寿命化は、計画的な補修・補強を行うことで、設備の劣化を遅らせ、法定耐用年数を超えて長く使用することが可能になる。これにより将来的な設備更新の頻度を減らし、突発的な故障や事故による地域インフラの停止リスクを低減することが可能になる。

◆製造部 ～タンク・圧力容器部門～

- ・ 1938年の創業以来、化学プラントに使用されるタンク・圧力容器を数多く手がけている。
- ・ 使用材料は低温鋼から各種ステンレス鋼に至るまで幅広く、低温（-45度）から高温（650度）までの圧力容器の製造技術を有しているほか、気密性等に関しても高い品質基準で検査を行い、安全な化学プラントの稼働に貢献している。



蒸留塔



ガスクーラー



蒸発缶

◆製造部 ～一般産業機械部門～

- ・ 自動車の性能検査に用いる風洞実験装置・日射装置や東京スカイツリーのメンテナンス通路等一般産業機械や鋼構造物の製作・施工にも数多くの納入実績がある。



風洞実験装置 縮流筒



風洞実験装置 日射装置



東京スカイツリー
メンテナンス通路

◆工事部

- ・ 環境プラント・化学プラントにて、据付・配管・試運転までの現地工事を綿密な施工計画、徹底した安全管理と品質管理のもとに行い、全国各地で数多くの実績がある。



広域連合向け機器据付工事



浄化センターフィルタープレス組立



浄化センター震災対策防風壁工事

(3) 工場・設備内容

◆工場内容

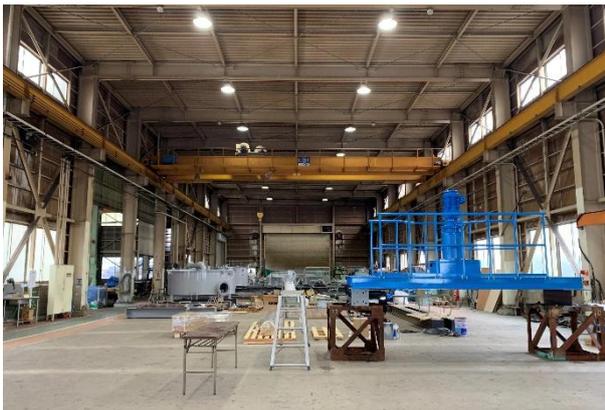
- ・ お客様からの様々な要望に応え、高品質な製品を提供できるよう、生産設備の充実や5S活動、作業環境の整備にも取り組む。
- ・ 2026年度に第一工場・第二工場の改装工事を実施予定。空調設備の設置と合わせて太陽光発電設備・蓄電池設備の設置を行う計画であり、作業環境の改善と空調により生み出される二酸化炭素の排出量を低減することを企図している。



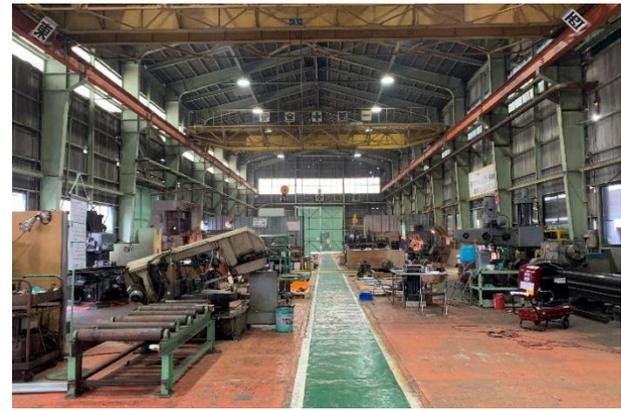
第一工場（製缶工場）



第二工場（製缶工場）



第三・四工場（組立・塗装工場）



機械工場（機械加工工場）

◆設備内容

- ・ お客様からの様々な要望に応えられるよう、随時設備更新を実施してきた。



プレスブレーキ



平板自動開先加工機



ベンディングロール

名称	種類及び能力	数量
旋盤	立型1500×700	4
セーパー		1
油圧プレス	500ton	1
油圧プレス	150ton	1
ベンディングロール	25×2500、12×1800	2
シャーリング	12×1800	1
ラジアルボール盤	1500	1
ボール盤		7
高速自動切断機	φ305	1
プラズマ切断機	100A	1
アーク溶接機	交流300A-500A	28
アーク溶接機	直流400A	2
アルゴン溶接機		10
半自動溶接機		8
パイプベンダー		2
ミーリングマシーン		1
パンチャー	TP45-70SW	1
プラズマ加工機	1525×3050	1
プレスブレーキ	160×310	1
形鋼切断機	H750HD	1
形鋼切断機	H900HD	1
ドリル研磨機	DP32	1
開先加工機	BCM-16N	1
平板自動開先加工機	160×500×40	1
ターニングロール	5t、10t	6
天井走行クレーン	2.8～10ton	17
門型クレーン	5ton	2

主要設備一覧表

(4) 品質方針

- ・ 工程ごとに厳格な検査を実施。設計から製作・検査・納入までを一貫して行えるからこそ、各々の工程に責任をもって対応し、お客様から満足と信頼を得られるよう取り組んでいる。
- ・ 1998年に圧力容器・塔槽でISO9001認証を取得。2010年にはその範囲を水処理設備などの産業用機械までに広げ、品質保証体制を整備している。
- ・ 社員の資格取得も奨励し、スキルアップによる、品質保証体制の強化にも取り組んでいる。



ISO9001 認証

2級土木施工管理士	4名	足場組立作業主任者	15名	クレーン運転士	3名
2級建築施工管理士	1名	鉄骨組立作業主任者	8名	床上操作式クレーン運転	33名
2級管工事施工管理士	3名	特定化物質及び四アルキル鉛等作業主	9名	玉掛技能講習	44名
1級鉄骨製作管理技術者	3名	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	18名	フォークリフト運転者	20名
2級鉄骨製作管理技術者	1名	有機溶剤作業主任者	5名	車両系建設機械運転	1名
鉄骨製品検査技術者	3名	ガス溶接主任者	1名	高所作業車運転	7名
非破壊検査技術者	3名	石綿作業作業主任者	1名	小型移動式クレーン運転	6名
監理技術者	1名	化学物質管理者	1名	粉塵作業特別教育	16名
WE S1級	1名	酸素欠乏危険作業特別教育	9名	研削砥石取替試運転者	22名
WE S2級	14名	有機溶剤作業従事者	4名	動力プレスシャー取扱者	2名
2級技能士（鉄工）	1名	ガス溶接技術者	17名	電気（低圧）取扱者	11名
2級技能士（機械製図CAD）	1名	職長教育	25名	足場の組立等業務	7名
第1種あと施工アンカー施工士	1名	危険物取扱（乙）	2名	積卸作業の作業指揮者安全教育	1名
可搬形発電設備専門技術者	2名	危険物取扱（丙）	1名	安全管理者選任講習	4名
特別ボイラー溶接士	1名	防火管理者	1名	衛生管理者	3名
普通ボイラー溶接士	1名	フルハーネス安全帯使用従事者	18名	衛生推進者	2名

保有資格一覧

(5) サステナビリティへの取り組み

◆ SDGs 宣言

当社は環境先進企業として、環境・エネルギー分野における社会課題の解決へ向け事業を通じ積極的に取り組み、地域社会・お客様・社員と共に発展する企業として、当社の経営理念『全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、卓越した技術で現代と未来の社会に貢献する』を基本に、2021年10月にSDGs宣言を行い、SDGs目標達成に向け取り組みを進めている。

【目標1】

環境・エネルギー分野における社会課題解決を目的とする設備の開発・実現に、モノづくりや工事の事業を通じて貢献する

【主な取り組み】

- ・脱炭素社会に向けた代替エネルギープラントの開発・設置や水処理設備・リサイクル設備等の環境プラントの省エネ化・長寿命化工事に積極的に関与する

【目標2】

企業活動における環境負荷削減・環境リスク低減への取り組みを推進する

【主な取り組み】

- ・省エネ・節電・エコドライブなどによるエネルギー使用の効率化
- ・グリーン調達を推進
- ・ゴミの分別・リサイクル品の利用による廃棄物量の削減
- ・デジタル化によるペーパーレス化の推進

【目標3】

多様性を創造性に変え、働きがい・働きやすさ・生産性の向上を追求した職場環境を整備する

【主な取り組み】

- ・人材の多様性（性別・年齢・国籍・障がいの有無など）を前提に、一人ひとりが能力を最大限発揮できる労働環境の構築
- ・男性も女性もライフステージに合わせて仕事と家庭の両立ができるよう、働き方改革を行う
- ・デジタル化を推進し、効率的に働ける職場環境を整備する

富山県SDGs宣言



山田工業株式会社はSDGsの達成のため、
以下について取り組むことを宣言します。

当社は、1938年の創業以来、水処理・リサイクル設備等で使用される環境プラント機器、化学プラントで使用される圧力容器・タンク類、風洞実験設備をはじめとする一般産業機械を、設計・製造・据付工事まで手掛けております。
環境先進企業として、環境・エネルギー分野における社会課題の解決へ向けて、事業を通じ積極的に取り組み、地域社会・お客様・社員と共に発展する企業として、当社の経営理念『全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、卓越した技術で現代と未来の社会に貢献する』を基本にSDGs宣言をし、持続可能な社会の実現に向け取り組みを進めます。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	<p>【目標】 環境・エネルギー分野における社会課題解決を目的とする設備の開発・実現に、モノづくりや工事の事業を通じて貢献する</p> <p>【主な取組み】 ・脱炭素社会に向けた代替エネルギープラントの開発・設置や、水処理設備・リサイクル設備等の環境プラントの省エネ化・長寿命化工事に積極的に関与する</p>	  
2	<p>【目標】 企業活動における環境負荷削減・環境リスク低減への取組みを推進する</p> <p>【主な取組み】 ・省エネ・節電・エコドライブなどによるエネルギー使用の効率化 ・グリーン調達推進 ・ゴミの分別・リサイクル品の利用による廃棄物量の削減 ・デジタル化によるペーパーレス化の推進</p>	  
3	<p>【目標】 多様性を創造性に変え、働きがい・働きやすさ・生産性の向上を追求した職場環境を整備する</p> <p>【主な取組み】 ・人材の多様性(性別・年齢・国籍・障がいの有無など)を前提に、一人ひとりが能力を最大限発揮できる労働環境の構築 ・男性も女性もライフステージに合わせて仕事と家庭の両立ができるよう、働き方改革を行う ・デジタル化を推進し、効率的に働ける職場環境を整備する</p>	  

2021年10月26日

企業・団体名 山田工業株式会社

代表者名 代表取締役社長 山田 恵子

4. 職場環境など

(1) 多様な働き方への取り組み

◆ワークライフバランスの推進

- ・ 完全週休2日制を導入しており、2025年度年間休日は127日間となる。また2024年度の平均有給休暇取得日数は12.5日、平均残業時間は8.1時間/月であり、ワークライフバランスの向上に取り組んでいる。
- ・ 2023年5月には健康企業宣言 Step2 を宣言。従業員の健康診断の実施や禁煙に向けたセミナーを開催するなど従業員の健康を維持・増進するための取り組みを行っている。



◆ 育児休業制度

- ・ 就業期間中の出産者の育休取得率は100%のほか、男性の育休取得も奨励し、パパ・ママ共に働きやすい環境づくりに取り組んでいる。
- ・ また1日6時間の時短勤務制度や2時間単位の有給休暇の取得制度などを整備しており、産休・育休取得後にも安心して職場復帰できる環境を整えている。

(2) 人材育成への取り組み

◆ 資格取得支援制度

- ・ 「1年に1資格取得」を目標に資格取得支援を行っている。
- ・ テキスト代や受験料などの必要経費は会社が全額補助しており、従業員のスキルアップを奨励している。
- ・ また資格によっては手当がつき、給料に加算される賃金制度を導入しており、従業員のモチベーション向上にも取り組んでいる。

◆ 講師手当・読書手当

- ・ 研修を従業員で企画し、講師も従業員が務める社内研修制度を導入。講師を務めた社員には手当が支給される。
- ・ また業務に関連する書籍を月3冊以上購入した際は、購入書籍の感想文を提出することで手当を支給しており、従業員が自ら学び、業務に還元する取り組みを支援している。

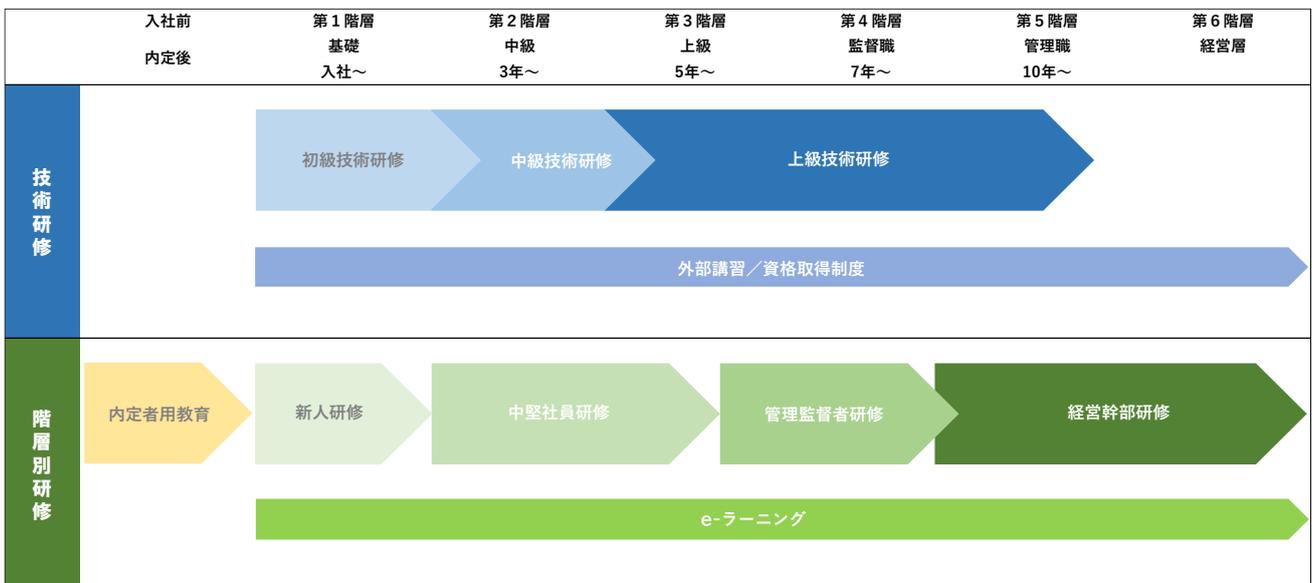
◆ 新入社員研修

- ・ 約4か月間富山市内にある富山技術専門学院に派遣し、溶接やクレーン操作、製図、安全管理などモノづくりに必要な技術を体系的に学べる制度を提供している。費用は全額会社負担とし、派遣期間中の給与も支払われることから、未経験者の新入社員でも安心して技術を身に付けることができる。
- ・ 社内管理ツールである「kintone」を活用して、「自分たちの課題を自分たちのアプリで解決する」をテーマにチームでアイデアを出し合いながら実際にアプリを作成する取り組みを行うとともに、チームワークの醸成に取り組んでいる。
- ・ 新人研修として溶接試験などの検定試験に臨む社員に対し、先輩社員が丁寧に指導しスキルアップを支援することで、実践的な技術を学ぶとともに合格できるよう後押しする取り組みを行っている。



◆ 技術研修&階層別研修

- ・ 現在、新入社員（中途入社社員）から中堅社員、管理職、経営職までの研修プログラムを整備中。階層ごとに求められる能力に応じて、社内・社外の研修も交えながら育成していく方針であり、2026年度中の開始を予定している。



(3) 職場環境改善への取り組み

◆本社事務所のリニューアル

- ・ エントランスや会議室、事務所内の業務スペースをリフォームし、従業員が快適に業務に取り組めるよう整備している。
- ・ 休憩室やリフレッシュスペース等も整備し、自席を離れてリフレッシュするほか社員同士のコミュニケーションの場となっている。



◆改善提案

- ・ 社内の業務管理に使用されている「kintone」にて従業員より改善提案を募集し、職場の環境改善に役立っている。

【改善事例】

改善前：同系統の色で工場内の段差が分かりづらく、危険に感じる。

改善後：トラ柄養生テープを段差の両側に貼り、目立つようにした。

効果：遠くからでも工場内の段差が認識しやすくなった。怪我や事故の防止。



(4) 福利厚生の充実にに向けた取り組み

◆新入社員歓迎会&暑気払い

- ・ 毎年新入社員や技能実習生も交えて懇親会を開催し、各部門の従業員が楽しく交流する場を企画している。



◆プロバスケットボールチーム・富山グラウジーズ及びプロサッカーチーム・カタール富山の観戦

- ・ 従業員や家族も交えて、オフィシャルパートナーを務める富山グラウジーズやカタール富山の試合観戦を行い、地域のプロスポーツを応援する取り組みを行っている。



◆置き食サービスの活用

- ・ お弁当やサラダ、飲料のほか、カップラーメン、スナック菓子などが常備され、購入金額の一部を当社が補助している。希望者はQRコード決済を利用して購入することができる。
- ・ また災害に備えた備蓄品としても活用でき、BCP（事業継続計画）の一環としている。



5. インパクトの特定

(1) インパクトレーダーによる包括的なインパクト分析

① 包括的なインパクト分析

富山第一銀行は当社の事業内容やバリューチェーン分析等の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。

事業規模からインパクトの大きさを勘案し、当社の製造部・環境プラント機器部門及びタンク・圧力容器部門を分析対象としている。事業活動は、国際標準分類に則り、「構造用金属製品製造業」「金属製タンク、貯槽及び容器製造業」「産業用機械器具設置業」を適用。川上事業は「測定、試験、操縦及び制御装置製造業」を適用。川下事業は「基礎化学品製造業」「水収集・処理・供給業」を適用した。

国際産業標準分類	川上の事業		当社の事業						川下の事業				
	2651		2511		2512		3320		2011		3600		
	測定、試験、操縦及び制御装置製造業		構造用金属製品製造業		金属製タンク、貯槽及び容器製造業		産業用機械器具設置業		基礎化学品製造業		水収集・処理・供給業		
インパクトカテゴリー	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
社会	水（入手）						◆				◆◆		
	食糧												
	住居												
	健康・衛生									◆◆	◆◆		
	教育												
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー												
	移動手段	◆											
	情報												
	文化・伝統												
	人格と人の安全保障												
	正義・公正												
強固な制度・平和・安定													
環境	水（質）		◆		◆		◆	◆		◆◆	◆	◆	
	大気		◆		◆		◆	◆		◆		◆	
	土壌		◆					◆		◆◆			
	生物多様性と生態系サービス							◆				◆	
	資源効率・安全性		◆		◆		◆			◆	◆	◆	
	気候		◆		◆		◆	◆		◆		◆	
	廃棄物		◆		◆		◆		◆	◆	◆	◆	
経済	包括的で健全な経済	◆		◆		◆		◆		◆		◆	
	経済収束											◆	

② 当社の事業活動におけるインパクトの抽出

①分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

影響があるカテゴリーとして、ポジティブインパクトでは社会面の「水（入手）」「雇用」、環境面の「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「気候」、経済面の「包括的で健全な経済」が挙げられた。ネガティブインパクトでは社会面の「雇用」、環境面の「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられた。

当社においては環境プラント機器及びタンク・圧力容器の製造が売上の多くを占めており、水処理施設・リサイクル設備などの環境プラントの機器製作・現地工事を通じて環境・エネルギー分野における社会課題の解決に貢献している。とりわけ川下事業である「基礎化学品製造業」「水収集・処理・供給業」に密接に関わっていると言える。

以上を勘案し、当社事業との関連が深い川下事業のカテゴリーとして、ポジティブインパクトでは社会面の「水（入手）」「健康・衛生」「雇用」、環境面の「水（質）」「資源効率・安全性」「廃棄物」、経済面の「包括的で健全な経済」「経済収束」が挙げられ、ネガティブインパクトでは、社会面の「健康・衛生」「雇用」、環境面の「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられる。なお、「大気」「経済収束」については当社事業と関係が希薄のため分析対象外とした。

③ インパクトの検証

【社会面】

当社は半世紀以上にわたり、水処理設備・リサイクル設備などの環境プラント機器製作・現地工事を手掛けることで環境プラントの省エネ化・長寿命化工事に関与し、安全な「水の供給（入手）」に寄与してきた。

また「雇用」において、安定雇用を通じて生計へのポジティブな影響がある一方、労働者の健康面と安全性のリスク等ネガティブな影響がある。当社では前述した「4.職場環境など」における多様な働き方や人材育成、職場環境改善、福利厚生の実施に向けた取り組みにより、労働者の健康面に配慮し、安全性を高めながら従業員満足度の向上に積極的に取り組んでいる。

【環境面】

環境プラント機器製作・現地工事により水処理の品質及び処理効率の向上に寄与することから「水（質）」へのポジティブな影響を生み出している。

「気候」については今後改修予定の自社工場への自家発電用太陽光パネルの設置による再生可能エネルギーの導入及び断熱性能の向上による省エネを通じたCO₂排出量削減に取り組む。

「土壌」「資源効率・安全性」「廃棄物」については、溶接作業後の酸洗浄工程で発生する排水中の酸成分を中和させて除去する「酸洗廃水中和設備」を導入しており、土壌や河川への負荷低減に努めている。

【経済面】

前述の通り、ISO9001 認証を取得し、品質保証体制の強化に取り組んでいる。圧力容器・塔槽のほか水処理設備などの産業用機械を高い水準で製作できるよう技術力の向上にも取り組むことで安全な化学プラントの稼働に貢献し、「包括的で健全な経済」におけるポジティブインパクトの拡大に寄与している。

(2) インパクトカテゴリーに対応するSDG s ゴール

当社の売上高はすべて日本国内から生じるものであり、日本のSDG s ダッシュボードから当社の事業活動のインパクトとの関連性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高いSDG s ゴールは下記ようになる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目は「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs ゴール 6 項目のうち日本に大きな課題が残る項目が 5 項目中 1 項目、重要な課題が残る項目は 2 項目該当しており、当社のインパクトは日本において重要度が高いと判断できる



(4) 富山県におけるインパクトニーズの確認

富山県は、約 4,248 km²の広さを有し、医薬品や機械、電子部品等を中心としたものづくり産業が盛んである点や、水深 1,000m の富山湾から標高 3,000m 級の北アルプス立山連峰まで、広大な森林面積や全国有数の水力資源に恵まれ、自然豊かな点が特徴である。

人口減少、少子・高齢化社会が進行する中、このような地勢を背景として、富山県では本県の自然、文化産業など各地域の特色、強みを活かした持続可能で活力ある未来を創造するため、平成 27 年 10 月から「とやま未来創生戦略」を、令和 2 年度から「第 2 期とやま未来創生戦略」を策定した。

第 2 期とやま未来創生戦略は、

基本目標 1 「結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備」

基本目標 2 「産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進」

基本目標 3 「若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上」

基本目標 4 「活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり」

の 4 つの目標を掲げている。

基本目標 3 に掲げる「若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上」については、前述の通り、当社は積極的に従業員の多様な働き方、人材育成、職場環境改善、福利厚生の充実に向けた各種取り組みを推進しており、基本目標に合致する取り組みと言える。

基本目標 4 に掲げる「活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり」については、特に③持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくりの項目において、当社事業は関連性が強く、上下水道等水処理施設関連の受注を増加させることによって、安全で健康的な生活環境の整備に貢献している。

<p>基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備</p> <p>① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進 (ア) 結婚・妊娠・出産支援 <input type="checkbox"/> 結婚を希望する男女の出会いの場の提供 やライフプラン教育の充実 <input type="checkbox"/> 若者・女性を中心とした移住・UJターンの促進 <input type="checkbox"/> 妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備</p> <p>(イ) 家庭・地域における子育て支援 <input type="checkbox"/> 多様な保育・子育て支援サービスの充実 や子育て支援人材の育成 <input type="checkbox"/> 子育て家庭の経済的負担の軽減</p> <p>(ウ) 職場における子育て支援 <input type="checkbox"/> 仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進</p> <p>② 働き方改革を通じたゆとりある生活の実現による少子化対策の推進 (ア) 長時間労働の是正や柔軟で多様な働き方の推進など働き方改革の推進 (イ) 男性の家事・育児参画の促進</p>	<p>基本目標 2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進</p> <p>① 産業・地域経済の活性化 (ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成 (イ) 中小・小規模企業の振興 (ウ) 企業立地等の促進 (エ) 農林水産業の振興 (オ) 環境・エネルギー産業の育成</p> <p>② 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり (ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進 (イ) 高等教育機関の魅力向上 (ウ) 地域の魅力創生</p> <p>③ 観光の振興 (ア) 選ばれ続ける観光地づくり (イ) 富山のブランドカアップ</p> <p>④ 移住・定住の環境づくり、関係人口の創出・拡大等 (ア) 移住・定住の環境づくり (イ) 関係人口の創出・拡大</p>
<p>基本目標 3 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上</p> <p>① 若者や女性が輝いて働ける環境づくり (ア) 若者がチャレンジし活躍できる環境づくり (イ) 様々な分野で活躍できる女性人材育成 (ウ) 女性の再就職支援</p> <p>② 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現 (ア) 元気な高齢者が活躍するための支援 (イ) 誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出</p> <p>③ 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり (ア) 外国人材活躍の促進 (イ) 多文化共生の地域づくり</p> <p>④ 多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上 (ア) 多様な人材の確保 (イ) ものづくり分野や観光分野などでの人材育成 (ウ) 働き方改革を通じた労働生産性の向上 (エ) 産業の高付加価値化の支援を通じた労働生産性の向上</p>	<p>基本目標 4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり</p> <p>① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり (ア) 陸・海・空の交通基盤整備 (イ) 快適で活力ある魅力的なまちづくり</p> <p>② 人生100年時代を見据えた人づくり (ア) 健康寿命の延伸 (イ) 医療や福祉の充実 (ウ) 教育力の向上 (エ) 未来を拓く人材育成 (オ) オリカレント教育の推進 (カ) 生涯にわたる学びの推進 (キ) 「心の元気」を醸成する文化の振興</p> <p>③ 持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり (ア) 豊かで快適な環境づくり (イ) 安全・安心の確保</p> <p>④ 豊かで魅力ある中山間地域の実現 (ア) 地域コミュニティの活性化 (イ) 地域経済の活性化 (ウ) 住民生活に必要な不可欠なサービスの確保</p>

出典：富山県「第2期とやま未来創生戦略（2024改訂版）」

(5) インパクトの特定

上記のインパクト分析に加え、インパクトの達成と安定的な事業運営を両立し得るという観点で事業環境について検討し、インパクト領域を以下の3つに特定し対応方針について対話を継続していくことが有効と判断した。当社も本評価書を通じ、当行の評価を採り入れ、自身の取り組みを改めて検討する機会としえとらえている。以上を踏まえ、当社のインパクトを以下のように特定した。

- ・ 製品の提供を通じた環境負荷低減への取り組み強化
- ・ 企業活動における環境負荷低減への取り組み実施
- ・ 働きがい・働きやすさ・生産性の向上を追求した職場環境の整備

(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社のサプライチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや地域におけるニーズや方向性等を踏まえて当社と特に関連性の高いインパクトを整理した。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「製品の提供を通じた環境負荷低減への取り組み強化」「企業活動における環境負荷低減への取り組み実施」「働きがい・働きやすさ・生産性の向上を追求した職場環境の整備」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「製品の提供を通じた環境負荷低減への取り組み強化」並びに「企業活動における環境負荷低減への取り組み実施」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」という観点で、「働きがい・働きやすさ・生産性の向上を追求した職場環境の整備」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「4.健全な企業経営」という観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取り組みの支援を目指す。

6. KPI の設定

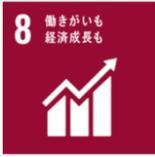
①製品の提供を通じた環境負荷低減への取り組み強化

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大 環境面におけるポジティブインパクトの拡大 経済面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「水（入手）」 「気候」 「包括的で健全な経済」
対応する SDG s	  
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会に向けた代替エネルギープラントの開発・設置や、水処理設備・リサイクル設備等の環境プラントの製造や省エネ化、長寿命化工事を積極的に手掛け、安全で環境性能の高い水処理施設や化学プラントの稼働に貢献する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2031年1月期までに水処理設備・リサイクル設備等の環境プラント機器製造件数を累計410件（平均82件/年）以上にする（2026年1月期：58件） ➤ 2031年1月期までに水処理設備・リサイクル設備等の環境プラントの省エネ化、長寿命化に関する工事件数を年間50件以上にする（2024年1月期～2026年1月期3期平均：30件） <p>※2032年1月期以降の目標は改めて設定する</p>

② 企業活動における環境負荷低減への取り組み実施

項目	内容
インパクトの種類	環境面におけるネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「気候」
対応する SDG s	 
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 工場内設備を増設するなかでも、省エネ・節電・エコドライブなどによるエネルギー使用の効率化に取り組む
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 2031年1月期までに2025年1月期対比CO₂排出量を10%削減する (2025年1月期実績：146.17t/CO₂) ※2032年1月期以降の目標は改めて設定する

③ 働きがい・働きやすさ・生産性の向上を追求した職場環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「雇用」
対応する SDG s	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材の多様性（性別・年齢・国籍・障がいの有無など）を前提に、一人ひとりが能力を最大限発揮できる労働環境を構築する ・ 男性も女性もライフステージに合わせて仕事と家庭の両立ができるよう、働き方改革を行う ・ デジタル化を推進し、効率的に働ける職場環境を整備する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2031年1月期までに年間有給休暇取得率を80%以上にする（2025年1月期実績：72%） ※2032年1月期以降の目標は改めて設定する

7. 管理体制とモニタリング

(1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役社長の山田恵子様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、作内浩二様が中心となり、管理・KPI達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役社長 山田恵子
管理責任者	常務取締役 作内浩二
管理部署	総務部

(2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定したKPIの達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年1回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI達成に必要な資金及びその他ノウハウの提供、あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成したKPIに関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPIを変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、株式会社富山第一銀行が山田工業株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

- 本件に関するお問い合わせ先
株式会社富山第一銀行
法人事業部 法人コンサルティングチーム
〒930-8630
富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）
TEL (076) 461-3871